

事業の背景・目的

- ・本県の但馬地域においては「イヌワシ」の2ペア（扇ノ山&美方）が確認されているが、現在、絶滅の危機にある。
- ・両ペアの生息地が近い上山高原では「上山高原エコミュージアム運営協議会」を設立し、地元住民を中心としてエサ場となる草原の復活、維持管理に力を注いできた結果、美方ペアが令和2年に16年ぶりにヒナが誕生したが、餌不足などから落鳥した。
- ・この出来事を契機にイヌワシ保全の取り組みを強化し、令和3年8月に環境省が策定した「イヌワシ生息地拡大・改善に向けた全体目標」の達成も見据えて、イヌワシの命をつなぐ「但馬イヌワシ・エイドプロジェクト」を展開する。

事業の内容

事業① 生息環境改善事業
ノウサギの跳ねる森づくり
・ススキ草原林縁部の樹木を伐採し、数年後の冬場の餌場の創出を目指した。
イヌワシの狩場創出
・人工林の間伐及びササ等の手刈りによる狩場を創出した。



事業② モニタリング
イヌワシ
・扇ノ線ペアは活発な活動が見られなかったものの、氷ノ山ペアについては、巣立ちヒナの出現があった。



得られた成果

引続き予算の範囲内でノウサギ個体数増加及び餌場の創出を行い、扇ノ線ペアの繁殖成功を目指す。